



食育カルタをつくろう

～「湖の子」給食から食生活を考えよう～

活動のねらい

- 「湖の子」給食には、滋賀県産の食材がたくさんあることを知る。
- 琵琶湖の恵みを受けて食事ができることに感謝の気持ちを持つ。
- 食育カルタづくりを通して、朝食の大切さや郷土の食材のよさについて理解する。

【時 期】 通年

【場 所】 学習室または活動室

【時 間】 約30分

【準備物】 ●「湖の子」給食の写真（提示用） ●食育のカルタ（作成用）
●漁獲量のグラフ（提示用） ●琵琶湖の写真（提示用）
●はさみ

主な活動の流れ

「湖の子」の朝食を振り返り、自分の食生活について考えよう

①琵琶湖でとれる魚や貝などの量の変化に気づく。

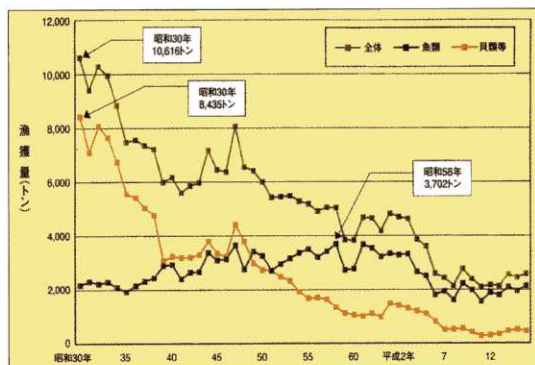
※漁獲量が減ってきている理由を考えさせる。

②「湖の子」給食の朝食を振り返り、食育カルタを作る。

- ※滋賀県ならではの食材を多く使っていることや琵琶湖の貴重な産物をいただいていることなどを確かめるとともに、栄養についても理解させる。
- ※滋賀の特産物や郷土料理など、学習したことをカルタに書き加えさせる。

③班のみんなでカルタをする。

- ※学習のまとめとして各班でカルタ取りをし、郷土の食材のよさや朝食の大切さの気づきを確かなものにするような解説を加える。



(資料:滋賀県農政水産部水産課)

